

太秦メディアパーク構想〈映画・映像産業の振興〉について

【関係省庁】内閣府 経済産業省 文化庁

京都府では、太秦メディアパーク構想を策定し、「京都」ならではの様々な資源を活かし映画・映像産業の振興に取り組んでいるところです。

こうした取組を更に加速させることにより、「クール・ジャパン」に代表される我が国のコンテンツ産業の発展を地域からリードしていくことが出来ると考えておりますので、京都府の先進的な取組に対し、予算を重点配分いただきますよう要望します。

＜経済産業省の概算要求＞

■ クールジャパン戦略推進事業費 19.2億円

・「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどのソフトパワーを活かした製造業の販路開拓には大きなポテンシャルがあり、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行うため、対象市場ごとにどの産業を組み合わせるかをどう売り込むかという戦略を構築・実施する。

＜文化庁の概算要求＞

■ クリエイティブ・ニッポン発信！プロジェクト費（新規） 5.5億円

・東アジアの人的交流や文化交流の拡大に向けた機運醸成、アート・フェスティバルや国際映画祭等により、文化芸術の海外発信の強化を図る。



＜京都府からの要望＞

■ 京都府では、次代の京都の映画・映像産業を担う人材を育成するため、若手人材育成を実施しているところですが、国内外から優秀な人材を集めることで、こうした京都府の取組を更に効果的なものとするために、国主体で進められる**人材育成プロジェクトを京都府内で重点的に実施**してください。

＜京都府の具体的な取組＞

- 立命館大学、松竹、京都府の連携協定締結（H18.5）
- 若手才能育成ラボの実施（H20～）
- 京都映画・映像人材育成会議の開催（H21～）
- 立命館大学と松竹の産学連携映画「京都太秦物語」完成（H22.2）

京都府の現状・課題等

◆京都府の映画・映像産業振興の主な取組

マーケット形成・開拓

- KYOTO CMEX（コ・フェスタ唯一の地方開催）の開催
- 太秦シネマフェスティバル、映画・映像企画市の開催

若手人材育成

- 若手才能育成ラボ（国内外のクリエイター約20名参加）の実施
- 立命館大学と松竹の産学連携映画「京都太秦物語」製作

企業集積・拠点づくり

- 京都府独自の「太秦映画・映像特区」指定による新たな投資や誘致
- 「太秦メディアパーク構想」の策定

制作誘致

- 映像産業振興機構（VIPO）京都事務所の開設
- アジアを主な対象とした映画・映像制作誘致の推進

◆京都の強み

- ① 日本を代表する国際観光都市、世界的知名度
- ② 撮影所をはじめ映画・映像関連産業、大学・研究機関が集積
- ③ 日本映画発祥の地、映像製作の歴史的背景
- ④ 映画・映像、ゲーム、アニメ・マンガなどのコンテンツの集積

◆課題

- ① 映画製作の東京一極集中
- ② 映画製作に関わる職人の高齢化
- ③ 映画周辺産業への雇用の縮小
- ④ 若手人材の育成・雇用確保

【京都府の担当部局】

商工労働観光部 ものづくり振興課 075-414-4847